



下関北高校だより

(令和4年12月19日発行)

山口県立下関北高等学校

〒759-5511 下関市豊北町滝部 1003 番地
TEL(083)782-0023 FAX(083)782-0183

高校生活の様子は下関北高校HPでも紹介しています。
<http://www.shimonosekikita-h.ysn21.jp>

■ 地域探究Ⅰ・Ⅱ「環境・自然」グループの活動紹介

地域探究の「環境・自然」グループでは、9月15日(木)に北高夢ロード実行委員会の岡崎新太郎先生、藤岡達雄先生、北高CS活動推進員の白岡勝典先生のご指導で、角島灯台のガイドボランティアを行いました。

この授業を行うにあたり、1学期末に角島灯台についての予備学習とプレゼンテーションの仕方について学び、前回の授業では、現地でのガイドのリハーサルを行って準備をしてきました。

当日は2~3人の3グループに分かれて、1グループ2~3回のガイドを行いました。観光客の皆さん方は、ガイド担当の生徒との行動を快く了承していただき、慣れないガイド活動に対しても真剣に聴いてくださいました。そして、ガイドの最中や終了後に「知らなかった」「わかりやすかった」「ありがとう」などとお言葉をいただいたことは、生徒の大きなやりがいや励みとなりました。

今回のガイドボランティアを通して、「おもてなしをすることは、とても楽しく面白いものだ実感しました。」「人に説明することで、より灯台への興味がわきました。」「他県の方の話から、山口県のよさに気づくことができました。」など、多くの経験を得ることができ、充実した時間を過ごすことができました。

10月16日(日)、11月20日(日)に、KRY山口放送の「はつらつ山口っ子」で今回の活動の様子が放映されました。



■ ウォークフェスタを実施しました。

9月22日(木)に、郷土の豊かな自然と環境を肌で感じ、清掃活動を通して環境保全に協力し、クラス及び学年の親睦を図る伝統のウォークフェスタを実施しました。当日は抜けるような秋空が広がり、絶好のウォークフェスタ日和となりました。

3年生は人丸駅に集合し、棚田経由で千畳敷をめざして出発しました。行きの道は斜面を登る厳しい道でしたが、ゴミを拾いながら歩き、ゴミ袋はすぐにいっぱいとなりました。棚田から海へと素晴らしい景色を見ながら千畳敷に到着しました。その後、千畳敷で昼休憩。サッカー、アスレチックを楽しむ者、持参したシャボン玉をする者、友人と語らう者など様々に過ごしました。帰りは斜面を下り、長門古市駅に向かいました。平地に着くと、稲刈り前や後の色とりどりの田畑が綺麗でした。

2年生は滝部駅に集合し、阿川ほうせんぐり海浜公園に向けて出発しました。青空が広がるさわやかな秋晴れの中、軽快に歩きました。途中のごみ拾いだけでなく、海浜公園の海岸清掃もみんなで楽しく行いました。先日の台風の影響で海岸には多くの漂流ごみが流れ着いており、10以上のゴミ袋がいっぱいになりました。海浜公園を管轄している阿川地区振興協議会の代表の方からお礼の電話もありました。



その後昼食、レクリエーションを楽しみました。

1年生は北高に集合し、土井ヶ浜人類学ミュージアム・土井ヶ浜海水浴場をめざして出発しました。ミュージアムでは、館内を案内していただきました。土井ヶ浜遺跡のシアター上映があり生徒は興味深く鑑賞していました。学芸員の方には丁寧に館内施設の説明をしていただきありがとうございました。その後、周辺で昼食をとらせていただきました。自由時間では、土井ヶ浜海水浴場や周辺の散策をし、夏から秋へと移り行く海を思い思いに楽しんでいました。

天候に恵まれ、秋の空気感を感じながら、無事に実施することができ、クラスや学年の親睦を深めることができました。



■ シーバードデイコバルト・豊北2022が開催されました。

コバルトブルー下関ライフセービングクラブの主催で、海岸清掃と各種マリンスポーツを行う「シーバードデイコバルト・豊北2022」が9月24日(土)にホテル西長門リゾート前ビーチを会場として開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントが実施されるのは3年ぶりになります。

本校から、山本夢子さんと渡邊碧さんが参加しました。先日の台風の影響で海岸には多くの漂流ごみが流れ着いており、約80名の参加者で1時間の海岸清掃を行うと、用意されたゴミ袋がすぐにいっぱいになりました。



ペットボトルなどのプラスチックごみが多く、海洋生物にも影響を及ぼしているマイクロプラスチックも流れ着いており、環境問題を深く考えるきっかけとなりました。参加者みんなで海岸清掃をした後、バナナボート、クリアカヤック、水上サイクリングなどのマリンスポーツを楽しみました。角島大橋が間近に見える綺麗な海岸を、このような活動を通して守っていかなければならないと感じました。下関北高として、これからも海岸清掃だけでなく、いろいろな環境問題に積極的に取り組んでいこうと思います。

■ ハロかぼランタンづくり研修会を実施しました。

9月28日(水)に(有)司ガーデンの代表取締役で関の花振興協議会の中司武敏さんを講師としてお迎えし、「ハロかぼランタンづくり研修会」を実施しました。研修会には本校のJRC部、総合文化部の約30名が参加しました。

研修会では、最初に中司さんから、なぜ、今、豊北町でハロウィンかぼちゃのランタンづくりに力を入れているのか、ハロウィンの起源、かぼちゃの種類、かぼちゃを使った楽しみ方や現在の取組、そしてランタンづくりの手順とポイントについて講習を受けました。また今年度は、ハロウィンイベントだけでなく、クリスマスイベントにも利用できる、デザインかぼちゃの作成を試みているとのことでした。中司さん自身も試行錯誤中で、高校生のアイデアでデザインかぼちゃの作成方法や展示方法などを研究してほしいとの依頼がありました。



講習のあとにハロウィン用のかぼちゃを使ってランタンを製作しました。2・3年生は新山口駅のイベントで使用するための、ペイントを施したハロウィンかぼちゃを手際よく完成させていきました。1年生は初めてランタンを作りましたが、先輩に作り方を教えてもらいながら、かぼちゃに油性ペンで下書きをし、引廻しのこぎりやスプーンを使って思い思いのランタンを完成させました。

下関北高校では、高校生にできる地域貢献として、ハロウィンで使われる観賞用かぼちゃでランタンづくりを行う活動を続けています。これまで、豊北夏祭りや道の駅北浦街道ほうほく、近隣の小学校など、地域のイベントにも参加し、かぼちゃのランタンづくりのアシスタントとして協力させていただいています。今年度は10月30日(日)に土井ヶ浜弥生パークとその周辺を会場として「下関ハロかぼプロジェクト in 豊北 農業振興∞地域振興 かぼちゃで遊び かぼちゃで学ぶ」が開催されました。新型コロナウイルスの影響で中止となっていました。今年度は3年ぶりにランタンづくりマイスターとしてイベントに参加しました。



■ 交通安全運動街頭キャンペーン

9月28日(水)に、あいにくの小雨交じりの天候でしたが、豊北町滝部「いなむら寿司」前のJR踏切付近で、交通安全運動街頭キャンペーンを実施しました。この取組は、秋の全国交通安全運動の一環として、小串警察署と小串交通安全協会滝部支部のご指導の下、地域住民への安全運転の呼び掛けを通して、交通安全意識の啓発を図るために行っています。



本校からは、交通委員、生徒会執行部役員、家庭クラブ委員、ボランティア委員など約40名の生徒が参加し、道を挟んで片側の歩道では、「住みよい山口 いつも心に 交通安全」の今年の標語を書いた画用紙を掲げて、朝の出勤途中のドライバーに安全運転を呼びかけました。

道の反対側では、小串警察署地域交通課及び小串交通安全協会滝部支部の通行車両誘導により停車していただいたドライバーの方に、家庭クラブ特製のマスコットと安全運転を呼びかけるチラシ等を手渡しました。

本校は、平成3年からこの街頭キャンペーンに参加しています。今後も交通事故のない日が続くよう活動していきたいと思えます。

■ 角島海岸美化美化(ぴかぴか)大作戦が実施されました。

豊北町ボランティアグループ連絡協議会の主催で、10月8日(土)に実施される「つのしまタヤケマラソン」開催に伴う角島海岸清掃が実施されました。角島地区社会福祉協議会の皆様と一緒に本校の地域探究の授業選択者36名が参加しました。「角島海岸美化美化(ぴかぴか)大作戦」と呼ばれるこの清掃作業は「つのしまタヤケマラソン」の参加者に少しでも気持ちよく走っていただき、豊北町のイメージアップに繋げるために実施されました。



9月29日(木)の4、5限を利用して、学校のマイクロバスで角島中学校前海岸に集合し、マラソンのコース側の海岸を1時間かけて清掃活動を行いました。先日の台風の影響で海岸には多くの漂流ごみが流れ着いており、特に漁具や流木が多く、撤去するのに時間と労力がかかりました。約60名の参加者で1時間の海岸清掃を行うと、用意されたゴミ袋がすぐにいっぱいになりました。ペットボトルなどのプラスチックごみも多く、海洋生物にも影響を及ぼしているマイクロプラスチックも流れ着いており、環境問題を深く考えるきっかけとなりました。



「つのしまタヤケマラソン」参加者の方に、きれいになった角島海岸線を気持ちよく走り抜けて、豊北町の良さがアピールできたらと考えています。

下関北高として、これからも海岸清掃だけでなく、いろいろな環境問題に積極的に取り組んでいこうと思えます。

